

優秀賞（山口新聞社賞）

N I C U ママ ネット のびっこ

代表者 佐々木綾子 （子育て分野／山口市）

活動の動機・目的

山口県健康福祉センター主催の未熟児学級「元気っ子」教室の参加者有志で、NICU（新生児特定集中治療室）体験談を作成。作成する過程において、もっと当事者同士が子どもの年齢や行政区を越えて自由に交流できる場があれば」と声が挙がり、自主サークルを立ち上げた。翌年から宇部会場「うべっこ」も開催。目的はNICUを体験し、小さく生まれた赤ちゃんをもつご家族（特に母親）を対象に同じ体験をした者との交流や情報提供をもって、小さく生まれた赤ちゃん特有の不安や悩みを解消すること。

活動の内容

①「おしゃべり会～NICU cafe～」(山口・宇部会場)開催。

情報交換、交流の場として、心配ごとのつきない日々の育児に癒しのひとときを得られるよう工夫。親子のなにげない一瞬を写真で撮る「親子キラリ撮影会」、「スクラップブック教室」、「心もほぐそう☆ハンドマッサージ&ケア教室」を実施。また、「平和を願う手形とり」を他のママグループにお願いし、成長の記念とする。保健師の協力を得て、育児相談の時間にコミュニケーションを図ることもでき、公的機関と顔つなぎの場としても機能。運営をNICU経験者による「ぴあサポーター」・低出生体重児の保育の経験が深い「保育サポーター」が行う。サポーターにはぴあカウンセリングや小さく生まれた赤ちゃん、その家族の事を学ぶ「ぴあサポーター」研修を行う。

②「私たちのNICU体験」(冊子)配布。ママたちからのメッセージ「一人じゃないよ!」をNICUを持つ医療機関・市町未熟児療育医療窓口へ見本版の設置、おしゃべり会でもこの体験記を配布。

③手芸部を立ち上げ、小さい赤ちゃん用の肌着作りに取り組む。自宅で余った物や活動を知った人が寄付してくれた布を使用。入院中のご家族のため、保育器から出た赤ちゃんにぴったりサイズの肌着を病院に寄贈。

④ブログ「NICUママの部屋」管理運営。県内のNICUサークルをつなぐ活動の一環。

⑤会報「きせつのおたより」発行。体験者の視点から、欲しかった情報、知りたい情報を、体験者アンケートを中心に作成したもの。体験談も掲載。

これからめざしたいこと

○「ぴあサポーター」研修などの機会を通して、ピアカウンセリングや小さく生まれた子どもとその家族についてさらに学ぶ時間を設けていく。県内NICU関係機関と連携を図り、どの病院、どの地域で出生しても必要なサポートや情報提供が受けられるようにする。

○交流の場のない地域で「おでかけ～NICU cafe～」を開催（周南市）。

○今後もさまざまな手法を用いながら、多面的に、小さく生まれた赤ちゃんを持つ家族（特に母親）の孤立感・孤独感の解消に努めていきたい。



おしゃべり会



ぴあサポーター研修